

東日

東日

# 夏休み「シルバー寺子屋」開始



読書感想文教室で児童に助言するセンター会員⑥ (蒲郡市生きがいセンターで)

**蒲郡市シルバー一元教員が夏休みの宿題を指導**

夏休みに入った小学生の読書感想文などの課題をサポートするため、蒲郡市シルバー人材センターは26日、市内神前町の生きがいセンターで「シルバー寺子屋」を始めた。教職経験のある60〜70代の会員10人が5日間にわたって集中的に指導する。

「子どもたちは本を選んだきっかりか、心に残った場面、分かったことなどをメモ用紙にまとめた。絵本『舌切り雀(すずめ)』を選んだ3年生の男の子は、は虫類や昆虫がつづらから飛び出すページが気に入り、何度も眺めながらメモを書き進めていた。明石さんは「うれしい、悲しいの」

か事が進まない子どもたちに問いかけるのは、センター会員で元中学教諭の明石さんが集まった。

「子どもたちは本を選んだきっかりか、心に残った場面、分かったことなどをメモ用紙にまとめた。絵本『舌切り雀(すずめ)』を選んだ3年生の男の子は、は虫類や昆虫がつづらから飛び出すページが気に入り、何度も眺めながらメモを書き進めていた。明石さんは「うれしい、悲しいの」

# 蒲郡市が来月29日にオンライン婚活「うち婚」参加者を募集

蒲郡市は来月29日午後2時から開くオンライン婚活「うち婚」の参加者を募っている。パソコンやスマートフォンを介して、自宅にいながら婚活イベントに参加できる。参加無料。

ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を利用する。グループトークや異性全員と1対1で会話する時間も設ける。

対象は25〜35歳。将来、蒲郡で暮らしていきたい独身男女。定員は男女各8人。超えた場合は抽選で決める。市内在住者優先枠がある。

市は出会いや交流の場の創出を目的に、婚活応援事業を展開している。コロナ禍でも気軽に参加してもらおうと企画した。

申し込みは市ホームページで受け付けている。来月15日まで。問い合わせは、市協働まちづくり課☎電話0533(66)1179☎まで。

中日



◇蒲郡で夏まつり 25日夜、蒲郡商工会議所青年部が蒲郡市の竹島、頭周辺で開いた。新型コロナウイルス対策で入場を5000人に限定。キッチンカーや屋台が並んだほか、市内の加藤煙火による打ち上げ花火「写真」もあり、マスク姿の来場者を楽しませた。

例年7月末に開催される蒲郡まつり納涼花火大会は、東京五輪と重なるのを避けて10月10日に予定されている。

東日

中日

東日

**市職員が新型コロナウイルスに感染**

蒲郡市は26日、市教育委員会学校教育課の職員1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市によると、職員は21日、仕事を終えて帰宅した後に発熱。24日、医療機関を受診し陽性と分かった。保健所の調査では、ほかの職員3人が濃厚接触者となり、その後の出勤を控えている。市はこれらの職員が使った施設内を消毒し、感染症対策をとった上で通常通り開庁する。

●トンだ大捕物 3日午前中、蒲郡市内の国道で「子ブタ」が走り回っている」との110番が相次いだ。蒲郡署員が急行し、近くの人から魚釣り用の網を借りて追いつけた。道路脇の土手を下って水辺で止まったところを、捕獲に成功。子ブタは「フヒビ」と鳴きながら、おとなしくなった。だが、どこから来たのか。市内に養豚業者はなく、持ち主不明になるかと思われた。そんな時に

「その時間帯にブタを荷台に積んで通った」と業者が申し出てきたため、落とし主と分かり、無事に引き渡した。「まさに、トン走」だった」と署幹部は苦笑い。

# トークライブなど内容満載

「海と日本プロジェクト 2021海・みなど・蒲郡」イベントチラシを配布

「海・みなど・蒲郡実行委員会」(小田泰久実行委員長)は、「海と日本プロジェクト2021海・みなど・蒲郡」のイベントチラシを作製し、配布を始めた。

日本財団の「海と」の一環で、蒲郡市内日本プロジェクト」で様々なイベントを

7日・豊田自動車 海陽ヨットハーバ

1、ぶらぶら蒲郡の海めぐり(9月4・5日)、がまごおりおさかな学校開校記念「さかなクン講演会」(9月19日・ラグナシア)、さかなクンのキョギョットトークライブ(9月19日・ラグナシア)、海・みなど・蒲郡マラソン(11月21日・星越海岸)など。

各イベントへの申し込みは、「海・みなど・蒲郡」特設ホームページで受け付けている。

「海・みなど・蒲郡」の各イベントを知らせるチラシ